

競技注意事項

1. 本競技会は、2024 WA Competition&Technical Rules、2024年度日本陸上競技連盟競技規則、「競技会における広告及び展示物に関する規程」及び大会申し合わせ事項による。

※使用可能なスパイク・シューズの一覧表 <https://worldathletics.org/about-iaaf/documents/technical-information>の中のMANUALS&GUIDELINES World Athletics Approved Shoe Listで最新版をご確認ください。毎週金曜日には更新されています。

2. アスリートビブスは競技者に①氏名、②番号、③氏名と番号の計3枚を配付する。原則として、①を胸に、②を背につける。ただし、跳躍競技出場者は③を胸か背のどちらかにつけること。

3. 招集時刻は下記の通りとする。

種別	招集完了時刻
トラック	15 分前
フィールド	30 分前
	(棒高跳 16:15)

【注意】

①招集完了後、トラック選手はスタート位置で、フィールド選手はピットで選手紹介を行うので、本人が出向くこと。

②練習は、開会式(国旗掲揚時のみ)の時はやめる。

③棒高跳の練習は15:30～

棒高跳の招集は競技実施直前に競技エリアで行う。

④リレーオーダー用紙は招集完了時刻までに招集所に提出すること。

4. バーの上げ方

種目	バーの上げ方						
	練習	1	2	3	4	5	以降
男子走高跳	1m90	1m95	2m00	2m05	2m10	2m15	+3cm
	2m00						
女子棒高跳	3m40	3m50	3m60	3m70	3m80	3m90	+5cm
	3m70						

5. レーン順及び試技順は、プログラム記載順とする。

6. ①CR18.5及びTR7.2の適用により、不適切行為をこの競技会中に2回行った競技者は失格とし、この競技会における以後の全ての種目に出場できなくなる。

②TR16.8の適用により、不正スタートした競技者は失格とする。

③抗議については、TR8.5[国際]を適用し、競技エリアで競技者本人から当該審判長が抗議を受け付け、裁定する場合がある。フィールド競技の判定に対して競技者自身が異議のある場合には、直ちに当該審判長に申し出ることができる。

7. 競技場内での投てき練習は、1人2回までとする。

8. 競技に使用する用器具はすべて主催者が用意したものを使用しなければならない。

ただし、投てき用具は個人所有のものを2個まで持ち込むことができる。

投てき物の持ち込みを希望する場合は、事前に申請書を記入し、競技開始時刻の2時間前から1時間半前までに用器具庫の前で受付を行い、検査を受けること。また、持ち込み投てき物はWA認証品かつ日本陸連検定品に限る。検査に合格した投てき物は主催者で借り上げ、競技者全員が使用できるものとする。

9. 第3位までの入賞者は表彰を行うので、競技終了後直ちに正面玄関本部に集合すること。その際には2.

①のアスリートビブスを胸につけること。

10. ドーピングコントロールテストを指示された競技者は、競技役員の指示に従ってテストを受けること。

11. 競技場内で練習ができるが、開会式(国旗掲揚時のみ)及び周回競技実施時は練習を中断する。サークル・助走路での投てき練習、助走路での跳躍練習、バーをかけての跳躍練習は競技開始前のみとする。

※400mH 16:50～17:20、100mH・110mH 18:15～18:35